

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 582

事務事業名	公共下水道雨水管維持管理事業
-------	----------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	上下水道局		
課名	下水道工務課		
課長名	坂野 憲一	内線	50
担当者名	野田 一夫	内線	51

基本目標	050304	機能的で環境と調和したまち
政策		快適で暮らしやすい都市環境の整備
施策		上下水道の整備
関連施策		

会計	大村市下水道事業会計		
款	2	下水道事業費用	
項	1	営業費用	
目	1	管渠費	
事業コード			

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個別計画	大村市公共下水道事業計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	公共下水道区域内の住民及び雨水管渠		
意図 対象をどのような状態にしたいか	降雨等による浸水被害の無い安全で快適な生活と、良好な環境を保全していくため、雨水施設の適切な維持管理を継続的に実施することで、その機能を十分に発揮させる。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	水路敷地内に堆積した土砂の浚渫や除草を計画的に実施することにより、溢水被害等を防止する。又、巡回パトロール及び市民の通報等により、速やかに雨水施設損傷箇所の補修・改善を行い、事故の未然防止及び施設の機能回復を図る。 認可面積 A=2,393ha、整備済面積 A=1,350ha、整備率 56.4%、雨水渠全体延長 L=183km、整備済延長 L=85,322m		
事業期間	昭和 49 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営、委託
根拠法令、要綱等	下水道法第3条		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 雨水管路補修延長	計画値	300	300	300	300	
		実績値	716	598	465		
	達成度	%	238.7%	199.3%	155.0%		
	② 雨水管清掃・調査延長	計画値	800	800	800	800	
実績値		m	1,271	1,086	1,018		
	達成度	%	158.9%	135.8%	127.3%		
成果指標	① 雨水管維持管理に関する通報件数	計画値	40	40	40	40	
		実績値	件	59	51	73	
	達成度	%	147.5%	127.5%	182.5%		
	②	計画値					
実績値							
	達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	8,638	8,369	9,113	15,141	13,266	13,266	13,266	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	8,638	8,369	9,113	15,141	13,266	13,266	13,266	
一般財源								
② 人件費(千円)	6,837	7,001	6,600	3,657	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.81	0.84	0.85	0.45	管路施設 L=1,100m	管路施設 L=1,100m	管路施設 L=1,100m	
時間外勤務(時間)	200	234	210	100				
嘱託等人数(人)		0.10	0.10	0.10				
フルコスト(①+②千円)	15,475	15,370	15,713	18,798				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	水路敷地内に堆積した土砂の浚渫や除草を実施したことにより、未然に溢水被害等を防止することに努めた。 また、雨水開渠周辺で転落の危険性がある箇所について、計画的に防止柵を設置し、事故の未然防止に努めた。
事業が抱える問題・課題等	局地的豪雨等の発生により、市民の降雨に対する意識が高まっている。又、高齢化により自宅周辺の雨水施設の維持管理ができない状況になりつつあることから、浚渫や除草の苦情が多い。又、近年、安全管理面での苦情が増加している。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	当事業は、他の公共施設管理者と連携して、同時施工で実施する等によりコスト削減に努めている。今後も公共工事コスト削減対策大村市新行動計画に基づき、さらなるコストの削減を図る。						
【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし		
雨水排水管の維持管理であることから、受益者を特定することはできない。又、維持管理費は、下水道法の規定により補助対象外になっており、見直しの余地はない。							

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	市民からの通報件数は、管理用敷地内の除草に関する苦情が増加している。このため、計画的に除草作業を実施するとともに、管理用敷地に舗装するなどして、定期的な費用がかからないような対策も実施していく。また、雨水施設を適切に管理し、浸水被害の防止、公衆衛生の向上等、市民の快適な生活を確保したい。 今後も、危険箇所に優先順位をつけて、危険度の高い箇所から転落防止対策を実施する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	雨水施設周辺の生活環境の改善、浸水被害の防止、転落事故等の未然転落防止。

1次評価	今後の方向性		2次評価	対象外	今後の方向性	
	終期設定			終期設定		
	意見等			内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。